

平成 26 年 1 月

RACMEM 2014
3rd International Conference on
‘Recent Advances and Controversies
in the Measurement of Energy Metabolism.’

開催趣意書

RACMEM 2014 大会長
田中 茂穂
独立行政法人 国立健康・栄養研究所
基礎栄養研究部 部長

開催趣意書

謹啓 皆様にはご清栄の毎日と、お慶び申し上げます。

さて平成 26 年 10 月 11 日(土)、12 日(日)の両日、花王株式会社すみだ事業場（東京都墨田区文花 2-1-3）におきまして、3rd International Conference on ‘Recent Advances and Controversies in the Measurement of Energy Metabolism’ (RACMEM 2014)を開催する運びとなりました。

本国際学術会議は、独立行政法人 国立健康・栄養研究所、筑波大学、および花王株式会社の研究者で組織される RACMEM 2014 実行委員会が、独立行政法人 国立健康・栄養研究所との共催として、鋭意、準備を進めているところでございます。

この学術会議は、ヒューマンカロリメーターや二重標識水(DLW)、活動量計などといった洗練された測定方法を用いた人あるいは動物におけるエネルギー代謝と基質酸化の評価について、新しい成果を学び議論するため、栄養学、農学、医学、保健科学およびスポーツ科学など幅広い分野の研究者や技術者が集う会議です。第 1 回の国際学術会議が 2008 年アメリカ・デンバーにて、第 2 回が 2011 年オランダ・マーストリヒトにて開催され、後者では 13 の異なる国から約 200 名の研究者や技術者が参加し、この分野における最新の発見と話題について多くのプレゼンテーション及び討論が行われました。

添付致しましたものは本学術会議でのポスターであり、今回は 200～300 名の参加者が見込まれ、熱心かつ活発な学術会議になるものと確信しております。

本学術会議がこれまでも増して有意義で大きな成果を上げるよう、大会本部・実行委員会関係者一同、日々精進致している次第です。

本来、学術会議の運営は、参加者の参加費などで運営されるべきところではございますが、機材・人材等の準備資金、特別講演、シンポジウムなどで講師にご来駕頂きたい場合など、会議内容の充実を追求しますと、そのすべてを参加費だけで賄うことは困難であり、諸団体・諸会社のご支援をお願いせざるを得ないのが現状です。何とぞ事情をご賢察頂き、格別のご援助を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

末筆ながら貴社の益々のご発展と皆様のご健勝を祈念致します。

敬白

平成 25 年 1 月 吉日

RACMEM 2014 大会長
(独)国立健康・栄養研究所
基礎栄養研究部 部長
田中 茂穂

【RACMEM2014 実行委員】

【大会長】 田中 茂穂（国立健康・栄養研究所）

【学術委員長】 徳山 薫平（筑波大学）

【学術委員】 Kong Chen (NIDDK)

Edward Melanson (Univ. Colorado Denver)

Paul MacLean (Univ. Colorado Denver)

Guy Plasqui (Maastricht Univ.)

安永 浩一（会場施設責任者）（花王株式会社）

日比 壮信（花王株式会社）

【実行委員】 薄井 澄誉子（事務局長）（国立健康・栄養研究所）

安藤 貴史（国立健康・栄養研究所）

中江 悟司（国立健康・栄養研究所）

森 建太（花王株式会社）

吉本 弥生（花王株式会社）

【過去の学会活動】

	開催地	大会長（敬称略）
第1回（2008年）	アメリカ・デンバー	Paul MacLean・Edward Melanson
第2回（2011年）	オランダ・マーストリヒト	Guy Plasqui

RACMEM 2014

Recent Advances and Controversies
in Measuring Energy Metabolism

October 11–12, 2014

Tokyo, JAPAN

-TOPICS-

- ✓ Why is the prevalence of obesity in Japan low?
- ✓ Influence of circadian misalignment on energy metabolism
- ✓ Brown adipose tissue, obesity, and energy metabolism

Organizing Committee:

Shigeho Tanaka

(National Institute of Health and Nutrition)

Kumpei Tokuyama

(Univ. Tsukuba)

Masanobu Hibi

(Kao Corporation)

Kouichi Yasunaga

(Kao Corporation)

Kong Chen

(NIDDK)

Edward Melanson (Univ. Colorado Denver)

Paul MacLean

(Univ. Colorado Denver)

Guy Plasqui

(Maastricht Univ.)

Maastricht, 2011
Denver, 2008

E-mail: racmem2014@nih.go.jp